

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 3 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
地域・社会と手をつなぎ、未来志向、国際基準の視野とスキルを持った青少年を育成する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
児童・生徒とともにSDGsを理解し、Think Globally, Act Locallyの視点でできうるアクションを考え、行動する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	2021年3月8日～12日にサレジオSDGsウィークを実施し、すべての教員にSDGsに絡めた授業展開を図ってもらった。	幼稚園・小学校・中学校・高等学校の各校種が様々な視点からSDGsを教育の目標の一つとして捉えて行動を起こすことができた	各校種が教育を通じてSDGs達成に向けたアクションを起こす
			魅力的な働き場所の創出のために、静岡県静岡市企業に対する条例案を作成する。2021年末までに「コーヒー（お茶）ブレイクの導入」に関する条例案の作成を学内の高校生グループが行った。次年では条例案を意味あるものにするために、企業や行政へのアプローチを図る
			2021年は、静岡市・エスパルスと協働し、シェアサイクル事業PULCLEの啓発活動を行い、エスパルスのホームゲームのときにスタジアムでPULCLEの啓発活動に関するブースを開設した。引き続き、協働して啓発活動に努める
	継続的に資源回収や資源削減に努める	アイシティと協働し、使い捨てコンタクトレンズのケースの回収を学内で行った	プラスチックの学内回収率100%を目指す
			2021年は学内のペーパーレス化や古紙の回収率を高めるため、集まった古紙を「木」として換算し、教員への意識改革を行った。引き続き、20%のペーパーレス化、裁断するもの以外は100%回収することを目指す
	子ども食堂PR動画作成を継続し、完成させ、NPO法人に提供する。	新型コロナウイルス感染拡大のため、子ども食堂への参画は見送った	2021年は様々な外部のステークホルダーを交えたSDGsの促進を目指し、ハワイ州プナホ高校のSDGsサミットに参加し、世界中の高校生との交流を行った。年間1～2度の交流を目指す

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴール**について**目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	学校法人星美学園 静岡サレジオ幼・小・中・高等学校	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	100 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	理事長
		氏 名	末吉 弘治
5	所 在 地	〒 424-8624	
		静岡市清水区中之郷3-2-1	
6	ホームページURL	http://ssalesio.ac.jp/	